

働き方革命コンサルタント

●宮崎 真理子(みやざき まりこ)

1996年大学卒業後、大手アパレルメーカー入社。その後、ベンチャー企業に転じマーケティング、人事を経て現職。自社の働き方革命を推進するとともにその成果を広め、中小企業のワークライフバランス化を支援している。講義や、制度導入、キャリア研修多数。2009年東京都ワークライフバランス企業認定の際のプロジェクトを率いる。マンパワーが限られた中小企業で、ワークライフバランスを推進する難しさを自ら経験し、小さく始めて歩みを止めない取り組みを提案、実践している。筑波大学大学院教育研究科カウンセリングコース修了。

資格

- ・社会保険労務士
- ・JCDA (Japan Career Development Association) 認定CDA (厚生労働省指定キャリア・コンサルタント能力評価試験合格)

運営

- ・日本ワークライフバランス研究会

働き方革命コンサルタント

●片山 悦子(かたやま えつこ)



大学卒業後、大手電機メーカー入社。システム開発に携わる。
その後、ITベンチャーで、システムエンジニアとして、中小企業への業務効率化の提案、導入を行う。

出産時に、育児支援環境が未整備である中小企業で、残業や長期出張が常態のシステムエンジニアとして、仕事と育児を継続することの難しさを実感。職場復帰後は、自らの希望でシステムエンジニア職を離れるが、仕事の傍ら、中小企業診断士をめざす中でワーク・ライフ・バランスと出会い、「中小企業こそ、柔軟にワークライフバランスを活用し、大きな効果をあげることができる」と考える。

社内の考え方を変えるためには、「まず自らの意識改革と実行である！」とシステムエンジニア職に復帰し、自ら社内のロールモデルとなるべく、社内制度の充実や働き方の見直しに尽力する。試験合格を機にフローレンスに入社。現在は、事業開始後6年目のフローレンスにて、激務の代名詞である『システムエンジニア』や、ワーキングマザー経験を活かし、働き方革命講演を担当する。

資格 中小企業診断士

働き方革命コンサルタント

●今給黎 辰郎(いまきゅうれい たつお)

1975年生まれ。2000年関西大学総合情報学部社会情報学科卒業。大学院卒業後に、大手SI企業に入社。システムのネットワークやサーバといった基盤構築を行うシステムエンジニアとして勤務。その後、人事部門にて各種研修・採用業務を担当し、若手社員向けの研修やコーチングを多数実施する。現在2児の父親&共働き家庭を持つ。子育てと仕事を両立していく中で、制度の充実のみでなく、制度を利用できる労働環境や働く人ひとりひとりの意識の変革がなければ、子育てと仕事の両立が難しい現実の問題意識を持つ。職種や役職に関わらず、ワークライフバランスをとれる社会の実現を目指し、フローレンスに転職。管理職研修、行政職員向け研修を得意とする。

資格 PHP認定ビジネスプロコーチ

病児保育講師

●森永紗希子(もりなが さきこ)

認可保育園にて保育の仕事に従事した後、出産を機に退職。

その後3人の子育てをし、子育て一段落で社会復帰。

院内保育、病棟保育、老人介護などの福祉関連の仕事を経験した中で社会における女性への負担の多さを痛感。

もっと何か手助けできることはないかと病児保育フローレンスに2007年に入社。

施設型病後児保育「まちかど保健室みなと」にて保育士として従事する傍ら東京医薬専門学校にて兼任講師として保育士を目指す学生対象に「病児保育」科目を担当。

まちかど保健室スーパーバイザーとして施設の立ち上げから運営・研修までをアドバイス担当。

現在は、フローレンスの事務局、病児保育事業部にて主に保育スタッフの育成、研修も担当している。

資格 保育士

フローレンス広報担当(及び 女性の再就職講演担当)

●小林 愛子

1994年上智大学文学部卒業。一年間のドイツ留学を経て、フランクフルトの日系銀行に就職、ミドルオフィスにてリスク管理を担当する。

4年間の在職後帰国、激務の資産運用会社に転職するも父親の介護により就業継続不可能となり退職。結婚後は夫の転勤、出産育児で女性のキャリア継続の難しさを痛感する。

仕事漬けの毎日から育児中心の毎日へとライフスタイルが変わる中、再び社会人としてスタートするべく働き方を模索する。

子どもと関わる時間を大切にしたい人生と、仕事の上での自己実現、どちらも犠牲にしないフローレンスのビジョンに強く共感し、入社。現在は時短制度を利用しながら広報業務を担当している。

一旦仕事から退いた中高年女性が再度社会人としてスタートする際のハードルの乗り越え方、単なる就活ノウハウではなくその人にふさわしい着地点の探し方、幼子を抱えながらのビジネススキルのキャッチアップ・レベルアップ方法、メンタル面でのセルフケア等、ワーキングマザーとしての自身の経験も踏まえ、病児保育という社会問題や女性の再就職といったテーマを手掛ける。

フローレンス 病児保育事業

●大西芙美

大学卒業後、大手商社系列企業でITビジネスに携わる。営業事務からスタートし、法人営業に転身。某大手小売企業のシステム開発・運用・保守を一貫して請け負うプロジェクトチームにてチームリーダー補佐として勤務。

仕事にやりがいを感じる一方、長時間労働が当たり前の労働環境の中で、「家庭を持ち働き続ける」未来が描けず退職を決意。北米への留学・老人ホームでのボランティア活動を行いながら将来を模索している時にフローレンスに出会う。

「誰かが社会を変えていくのではなく、気付いた人が社会を変える。」というビジョンに共感し、2008年10月フローレンスに入社。

入社後一貫して病児保育事業に従事。現場をサポートするコーディネーターを務めながら、「100%対応」モデルを堅守すべく実績管理と将来予測に頭をひねる日々。前職の経験を活かし、顧客管理システムやコーディネートサポートシステムの開発にも関わる。